

令和4年度神埼小学校 校内研究構想

1 研究主題

「わかった!」「できた!」を実感し、主体的に学ぶ国語科学習の在り方を探る
—「振り返り」の探求を通して—

2 主題設定の理由

(1) 新学習指導要領の趣旨から

近年、グローバル化の進展や人工知能の飛躍的な進化など、社会の加速度的な変化が、人間の予測を超えて進展している。このような社会において、予測できないような事態に遭遇した時、受動的に対処するのではなく、主体的に向き合い、他者と関わり合いながら問題解決を図っていく人材が求められている。そのため、「学び」の本質として重要となる「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善の取組が提起されている。

(2) 昨年度の実践から

昨年度は、研究主題を「『わかった!』『できた!』を実感し、読むことを楽しむ国語科学習指導の在り方を探る」として、学びの質を高めていくための「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて研究を行ってきた。その成果として、2つの成果が見られた。1つ目は、提示した学習課題と言語活動モデルを手がかりにして、児童が意欲的に学ぶようになってきたことである。2つ目は、自分の考えをもつ際には、叙述をもとにしながらかくことができるようになってきていることである。「振り返り」では学んだことや分かったことなどを書く姿が見られるが、単元末の「振り返り」で、身に付いた力を具体的に述べたり、身に付けた力を次にどのように繋げていけるのかについて考えたりすることが十分とはいえない。

(3) 研究主題について

そこで、今年度も、昨年度の主題を引き継いでいきつつ、視点を「振り返り」に焦点化し、「—『振り返り』の探求を通して—」とし、これまでの身に付けさせたい力を明確にした単元づくりや学習の見通しをもたせるための「言語活動モデル」も大切にしながら研究を進めていく。さらに「振り返り」の探求を通して、「主体的な学び」では次の学習に繋げ、「対話的な学び」では自分との対話を行い、「深い学び」では学んだことを新たに次に生かそうとする子どもを育成していく。「振り返り」では、単元でどのような力が身に付いて、次にどう繋げていけるのかを考えさせていく。児童が、単元を振り返りながら具体的に考えることができるようになることは、主体的な学びへもつながっていく。「振り返り」を探求していき、主体的に学ぶ子どもの姿を目指していきたい。

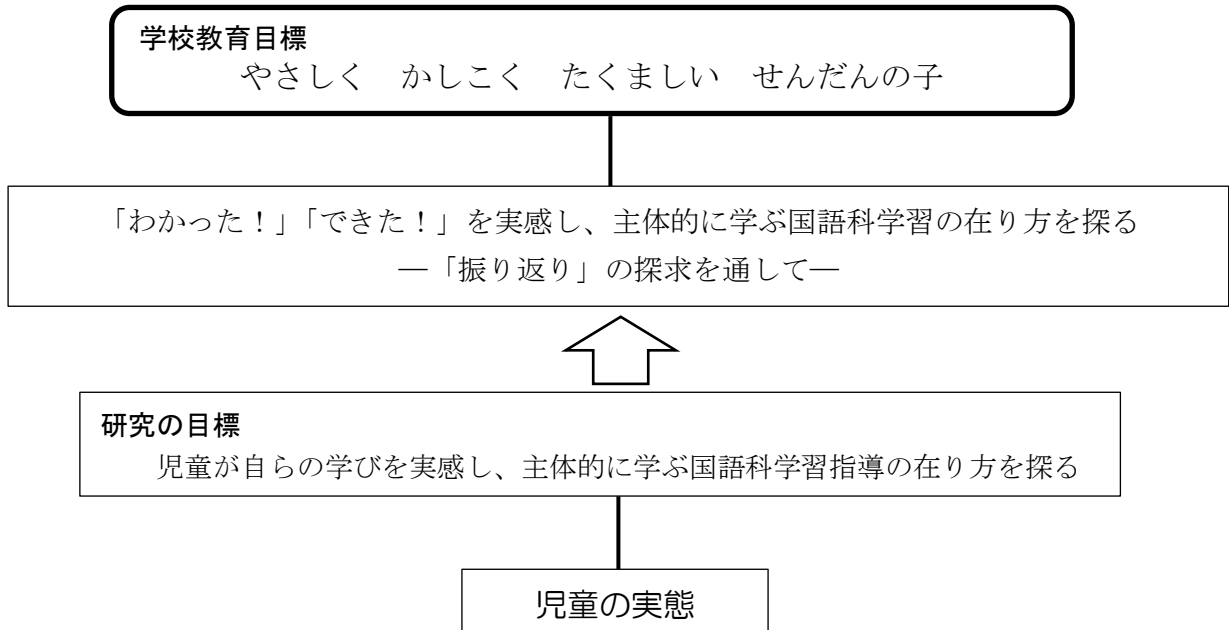
(4) 目指す児童像について

「『わかった!』『できた!』を実感し、主体的に学ぶ国語科学習の在り方を探る—「振り返り」の探求を通して—」ことで、本校の目指す児童像を次のように設定する。

「振り返り」を通して、身に付いた力を確かめ、次にどう繋げていけるのかを考え、主体的に学ぼうとする子どもの姿をめざしたい。

3 研究の目標

児童が自らの学びを実感し、主体的に学ぶ国語科学習指導の在り方を探る。



4 研究の内容

- 身に付けさせたい力を明確にした「学習課題」
- 学習の見通しにつながる「言語活動モデル」
- ◎どんな力が身に付いたのかが分かる「振り返り」

5 研究組織

[研究推進委員会] …校内研究の企画

[研究主任・副主任] …校内研究の企画や提案及び研究の計画と推進

[全体研修] …全体の理論研究、研究内容について協議

[各学年部会] …授業計画の推進・交流、学年・学級の掲示等 *級外は各学年に所属

6 各学年部員

低学年部	1年 家永、杉山、岩切	2年 園田、多良、實松
中学年部	3年 川原、山下、今村、居石	4年 糸山、富永、山本
高学年部	5年 笠原、高野、渡辺、向井	6年 久米、網代、秋山、本村、久保
特別支援部	岡本、増田、安井、野田、小竹、野口	

7 研究の計画

月	日	研究会	研究内容
4	7 13	研究推進委員会 校内研	研究の概要、組織、内容の検討 研究の主題、研究の内容・方法、組織の説明
5	16 18	研究推進委員 校内研	授業づくりについて 全体研修（講話）
6	21 24	研究推進委員会 校内研 ○研究授業	授業研究会
8	1	校内研	2学期の授業研究会について 全体研修（講話）
9	7 27	校内研 研究推進委員 ○研究授業	指導案検討 授業研究会
10	12 25	校内研 研究推進委員 ○研究授業 ○研究授業	指導案検討 紀要のまとめ方について 授業研究会 授業研究会
11	9 22	校内研 研究推進委員 ○研究授業 ○研究授業	紀要のまとめ方について 紀要のまとめ方について 授業研究会 授業研究会
12	14 26	校内研 研究推進委員会	来年度の校内研究のアンケートについて
1	11 24	校内研 研究推進委員	今年度の校内研究の成果と課題について 来年度の研究についての検討会
2	8 21	校内研 研究推進委員会	来年度の研究についての検討会 課題をもとにした次年度の研究の視点を考える。
3	8	校内研	課題をもとにした次年度の研究の視点を考える。

○各学年で単元づくりを行い、授業公開をする。

各学年、全学級で公開授業が終了したら授業研究会を行う。

○低・中・高の代表授業を全員参観し、全体で授業研究会を行う。

○特別支援部においては、一定期間、授業参観日を設ける。期間内に、全職員必ず参観する。その際、参観の視点や個人の目標を簡単に示す。